金剛　株式会社

テレワーク導入体制をしっかり整えてからでなくても、
完璧を目指さず、出来るところからトライしてみることが大事

設　　立：1951 年
本社所在地：熊本市西区上熊本 3-8-1
工場所在地：上益城郡嘉島町大字上仲間八津 1825
事 業 内 容：オフィス・文化施設関連設備の製造販売事業
従 業 員 数：約 300 名（男約 250 名、女約 50 名）
令和３年８月現在

テレワーク導入目的

・育児・介護中など、出社が困難な社員の離職を防止するために始めた。
・新型コロナウィルス感染拡大を踏まえ、社員の健康と安全を確保しながら事業を継続するため、対象を全社員に広げた。

テレワークの形態

＜対 象 者＞業務上テレワークが出来ない職種を除き全員を対象とする。出社率３０％を目標。
＜作業場所＞自宅、サテライトオフィス
＜実施のプロセス＞在宅勤務申請書を管理部門、秘密保持誓約書をシステム部門に申請。
＜形　　態＞会社支給のノートパソコンと携帯電話・ネットワークを使用。

導入にあたっての課題や不安をどう克服したか

課題や不安	克服方法
○セキュリティや労務管理をどのように行うか。	・労務管理については、厚生労働省などのホームページを参考にし、2017 年全部署対象にテレワーク規程を整備した。 ・セキュリティ対策として、会社支給のノートパソコンと携帯電話・ネットワークを使用した。
○部署間のコミュニケーションをどうするか。	・在宅勤務者と上長、管理本部間で、在宅で可能な業務や連絡手段など、現在も常時打ち合せをしながら運用している。
○社員の意見 ・インターネット環境がない、モニターがなく作業効率が下がるなど自宅環境が整っていないとの声があった。	・会社よりノートパソコン、スマートフォンを支給した。 ・wi-fi 環境がない社員には支給しているスマートフォンのテザリングにて対応した。

実際にテレワークを行ってからの問題及びそれをどう克服したか

課題・不安及び手続きなど	→ 克服方法
○在宅勤務時の業務内容	・特別な業務ではなく各部署出社時と同じ。 ・オフィスでしか出来ない業務、自宅で集中して行える業務等の計画を立て、業務に支障が出ないよう実施した。
○セキュリティの問題	・社員個々に ID とパスワードを付与した。 ・新入社員にはオンライン動画でのセキュリティ教育を実施した。
○始業・終業時刻・時間外労働の把握方法	・スマホやＰＣよりタイムレコーダーに入力し勤怠確認、Zoom や meet などオンライン会議で朝礼を実施。部署により異なるが終礼、メールやチャットで日報報告を行う。
○通勤手当・テレワーク手当	・通勤手当については、出社時は実費精算する。 ・テレワーク手当を支給している。
○機器の接続がうまくいかない	・常時個々にシステム部門に問い合わせて解決している。
○社員とのコミュニケーション	・Google チャットを活用している。 ・本当に困った時しか連絡してこない社員や、書類をどのように書けば良いか等職場ではすぐ確認できることをテレワーク中は書類の説明からしなければならないため、主に新入社員など戸惑いをもつ者もいるが、各所属長が声掛けすることによって、コミュニケーションを取っている。
○体調不良の社員の把握	・原則は本人からの自己申告だが、管理職が間に入り健康状態を確認することとした。 ・コロナ感染防止対策として、全員が社有携帯電話を利用し毎日体調管理報告を入力、所属長が確認し体調不良者へのフォローを徹底している。

実施後のメリット

・感染予防につながり安心して働くことができる。
・通勤時間が無くなり、満員電車に乗ることもなくなりストレスフリーとなった。
・仕事中、話しかけられたり遮られることが無いので集中できる。
・家事や趣味の時間も増え、生活にゆとりができた。
・休憩時間に家事が出来たり家族との時間が取れるようになった。